

ティーチング・ポートフォリオ

山村学園短期大学 子ども学科

専任講師 今村 麻子

1. 教育の責任

2019 年度の担当科目は(表1)の通りである。

(表1)2019 年度 担当科目詳細一覧

科目名	学期	対象学年	種別	受講者数	備考
乳児保育Ⅰ	前期	1 年	講義	70 名	1 クラス
保育の心理学	前期	1 年	講義	70 名	1 クラス オムニバス
教育方法・技術論	後期	1 年	講義	70 名	1 クラス オムニバス
保育・教職実践演習	後期	2 年	演習	71 名	2クラス 教員2名
保育内容 C	前期	2 年	演習	71名	2クラス 教員3名
実習指導Ⅰ	前期	1 年	演習	70名	4クラス 教員 5 名
実習指導Ⅱ	後期	1 年	演習	71名	4クラス 教員5名
実習指導Ⅲ	前期	2年	演習	71名	4クラス 教員5名
教育実習Ⅰ	集中	1年	実習	70名	
総合演習Ⅱ	通年	2年	演習	71名	4クラス 教員5名
スキルアップセミナーⅡ	通年	2年	演習	71名	4クラス 教員5名
進路ガイダンスⅠ	通年	1年	演習	70名	1クラス 教員5名
進路ガイダンスⅡ	通年	2年	演習	71名	2クラス 教員6名
保育入門	後期	山村国際高校 3 年	講義	17名	1クラス 高大連携

2. 教育の理念

(1) 保育者の役割に気づく授業

「幼稚園におけるかくれたカリキュラム」「異年齢保育に関する一考察」「子どもの主体的・連続的な遊び展開への保育者の支援プロセス」についてなど明示されたカリキュラム以外の人的環境などの保育要因についてこれまで学んできた。学生が自らの「保育観」「子ども観」に向き合うことを促進させ、「遊びを通した学び」「環境による教育」についてをよく理解できるよう具体的事例を多く授業の中で紹介している。

(2) 学校と社会をなだらかにつなぐ

自身が幼稚園教諭、保育園園長として現場に勤務していたことを活かし、養成校での学びと実践を繋げることを目指して、授業実践に取り組んでいる。保育の仕事の魅力を語り、学生の夢の実現を応援したいと考える。また、保育現場で奮闘する現任の保育者の方々と連携し、最新情報を仕入れ、授業に活かす意志で授業を行っている。

(3) 保育者のキャリアパス

保育の大きな要素として保育士(幼稚園教諭)になる人がどのような人材で、どんな経緯があるのかについて知るために、インタビューを行っている。「保育学科学生が保育者を志すに至ったプロセス」「保育科学生が保育士として就職するまでのプロセス」等を複線径路等至性モデルという質的研究の手法を使って示してきた。幼い頃に持った憧れや、自分の適性への気づきなどそれぞれの学生の思いがあることを心にとめて、仕事へ向かうための支援がしたいと考える。

3. 教育の方法

(1) アクティブ・ラーニング

保育現場で子どもや保護者、同僚から学んだことの事例を用いて授業を行い、保育の意義を伝えている。例えば、実際の保育の映像、実際のカリキュラム、連絡帳から保育に関わる課題や意義を考察するような授業を行っている。また、保育の実践者の話からの学びをねらい、園長、保育者を授業に招いたり、学生が製作した玩具を持って保育現場を訪ねる課題を課すなどして学内の座学のみで完結しないスタイルを採っている。

大人数の授業においても、できるだけ双方向のコミュニケーションによる展開に努めている。学生からのリアクションペーパーなどで出た質問を次の授業で取り上げ、議論を深めるようにしている。このことは授業評価アンケートでも「丁寧でわかりやすい」と複数の学生からコメントがあり手応えを感じている。

(2)授業の工夫

具体的な資料や映像を盛り込み、学生の好奇心や学習意欲が持続するようにしている。授業で学ぶことが子ども達の発達に直結して貢献することができると常に伝えるようにしている。例えば保護者支援について、保護者がどのようなことに悩んでいて、保育士のどのような姿勢に支えられるのかということ、保護者からもらった手紙を紹介するなどして具体的に話すようにしている。「虐待」や「産後うつ病」などについて学ぶ時の学生の真剣な表情は印象的で、保育を志望する学生が皆持っている優しさや責任感が表れてくると感じている。保護者支援や職場の共同性のために、産業カウンセラーやキャリアコンサルタントの技術として学んだ「カウンセリングマインド」を学生にも伝えている。保育現場で実際にあった相談や支援の事例を紹介して、学生の動機付けを行ない、実際にロールプレイを行って傾聴の大切さを理解させる。

そして、実践を伝えつつ、その事例を用いて伝えたいことは何なのか、理論づけて説明をするようにしている。保育現場は体験的なものが多いが、理論や根拠を知っていることが役に立つと伝えている。

4. 教育の成果・評価

2019 年度の前期定期試験前に学生に対して授業アンケートを実施した。講義2科目の総合評価(表2)を載せる。

(表2) 2019 年度の前期授業アンケートの結果一覧

	問4 全体的に見て、この授業に対するあなたの評価はどの程度ですか。5点満点	自由記述欄
保育の心理学 (オムニバス)	4.70	- 子どもだけでなく障害を持った子、保護者の心理について理解を深めることができた。 - 生徒一人ひとりからの質問に回答がしっかりされていて良かった。 - 例になる動画を見せていただいたりして、とてもわかりやすかった。 - 心理テストや、相互授業に新しいと思った。すごかったのしかったです。 - エピソード等をまじえて話してくださったので分かりやすかった。 - 授業をうけて、心理学にとっても興味をもちました。 - 保護者への対応、子どもとの関わり方を深く学べてよかったです。 - 子どもの明るくてかわいい部分だけでなく、色々なことを学べてよかったです。 - いつも丁寧で分かりやすかったです。 - とても興味のある内容だったので、丁寧教えてくださり、ありがたかった。 - 山村先生の毎回の小テストは、振り返りができてよかった。ラインを配信する時間が夜中なのは辛かった。 - 心理学の授業は難しい内容もあったけれど、とても楽しく学ぶことができました。タメにもなる内容がかりでした。 - とても分かりやすい授業でした。 - 説明がわかりやすかった。 - 刑務所の話がとても興味深くおもしろかった。また聞きたい。 - 難しい。 - どちらも聞こえやすく、優しい感じなのですごい良かった。 - L I N Eでアンケートがくると、大変です。攻めて授業中に送ってほしいです。 - 興味深い話が多く、もっと知識を深めたい。授業L I N Eが深夜に来ることがあるので、早い時間にしたい。 - 山村先生の配布プリントが字が見づらかった点（7月24日の） - 山村先生も今村先生も大好きだから、授業は難しいけれど好きでした。

	問4 全体的に見て、この授業に対するあなたの評価はどの程度ですか。5点満点	自由記述欄
乳児保育	4.75	・ 声が優しくて聞き取りやすかったです。丁寧に学生の質問にも答えて下さって、すごくいいなと思いました。 ・ とても興味深い内容で、講義もとてもわかりやすかった。もっと勉強したい ・ 聞きたいことをプリントに書いて質問するという制度がとても良かった。気軽に質問でき、それに対して次の授業で説明をしてくださったり、プリントを配ってくださった。とても分かりやすい授業でした。 ・ 間にはさんでくださる DVD がかわいかった。 ・ ためになることがたくさん分かりました。 ・ ゆったりとしていて、聞きやすい。スマイルがすてき。全体的にできるなら、もう少し字が大きい方がよい。 ・ 授業に触れた部分で、もっと詳しく学びたいと思えた。 ・ 授業もわかりやすく、学生の質問もしっかり答えていて良いと思いました。 ・ とてもわかりやすく資料なども下さったので、理解も深められ良かったと思つてます。 ・ すごく興味深かったです。合間で短い動画が入っていたり、こちらの集中力を保たせるよう考えて講義をされていると感じました。非常にわかりやすかったです。 ・ 分かりやすかったし、速さも良い感じでした。 ・ 授業が事例が多く、理解しやすかった。 ・ 興味深いこと参考になる事がたくさんあり、とても勉強になりました。今村先生の多彩な美しい言葉のシャワーをあびてが増語彙が増えました。ありがとうございました。 ・ 今村先生の授業ほど、ねむくても頑張りたいと思った授業はないです。今村先生が大好きだから、頑張れました。 ・ とても学びになりました ・ 学生の深めたい内容、知りたい内容にいていねいに答えてくれ、授業に対する意欲が湧いた。 ・ 乳児と一緒にできるわらべ歌をたくさん知ることができてよかった。定期的に席を替えるのも良い。 ・ 1つ1つ丁寧に説明してくれて、わかりやすかったです。 ・ 内容が難しく覚えてることも沢山あって大変だけど、すごく楽しい授業だった。 ・ 楽しかった。病気の事など、色々学ぶことができた。 ・ 分かりやすく、とっても良かったです。テスト頑張りたいです。 ・ 分からないところは毎回優しく教えてくれるいい先生です。授業も分かりやすく楽しいです。頑張って下さい！ ・ 毎回タメになる授業や話だったので、授業を受けていてとても面白かったです。 ・ 映像での授業が頭に入りやすかった。 ・ 実際に先生が経験された出来事などをたくさん教えて頂き、とても参考になりました。 ・ 実際に赤ちゃんの人形を使って学んだり、事例を交えながら学べてとても分かりやすかったです。 ・ 赤ちゃん人形をつかったふれあい遊びなど、とても楽しかったです。先生の体験もきくことができて勉強になりました。 ・ とてもわかりやすく優しく教えてくださったので良かった。質問も詳しく説明してくださり、理解が深まった。 ・ いつも分かりやすくていい授業でありがたいです。 ・ 分かりやすく良い授業だった。乳児院等、いろいろな施設についても紹介してくれてありがたいと感じた。今後の働き方の幅を広げてくれたように感じ ・ 画像や動画があり、とてもわかりやすい。 ・ 実際に起きた事例なども話してくれて、分かりやすかった。 ・ 毎回でた質問に対して、丁寧に回答がされていて良いと思う。 ・ 最終授業のスピードが速かった。 ・ 事例をたくさん話してくださり、想像がついてわかりやすかった。 ・ とても分かりやすかった。わからない所をきいたらしっかりおしえてくれた。 ・ どの内容も先生の説明がわかりやすかったです。

5. 教育の改善に向けた今後の目標

(1) 短期的目標

「板書の字をもっと大きく」との意見があった。細長い教室後部からホワイトボードは遠いため基本的にレジュメを配布しているが、補足的な説明の際には大きな字で明瞭に伝えられるようにする。

(2) 長期的目標

① 実習の重要性

実習は学生自身のキャリア開発と保育現場の質の向上の目的のために、また養成校での学びを貫く背骨として大変重要であると考えている。2019 年日本保育学会において「実習生受け入れガイドライン作成の試み―園と養成校が協働して学生主体の育ちを支えるために―」の自主シンポジウムを企画し、実習について現状の課題とその解決の必要性を示した。引き続き、幼稚園・保育園等と連携して保育者養成のあり方について考え、実習の充実と関連する授業の質に反映していきたい。

② 学生自身が成長する主体であること

養成校の教員として、保育士志望の二十歳前後の人が成長・発達を遂げて変化していく様子を目の当たりにしてきた。保育・教育の仕事は「子どもが好きだから」だけではできない大きな責任を伴う複雑な仕事であるが、「子どもが好きだから」だけで入学してきた若者が実習や授業で社会や教師とも出会うことによって気づき、変わっていくと実感できている。実習や就職活動で社会との関わりが多くなってくると、自分に向き合って深く考える姿があり、かつ発信も自発的になっていく様子が見られる。その時、学生達はボキャブラリーを増やし、社会や大人と関わることに自信を持ち始めるように思う。そのことをねらいにして関わりたいと思う。そして、意欲的な学生と出会い、業界を背負うリーダー人材に育ってもらえるような土台作りに貢献したいと思う。

大切なのは学生の主体性であるので、学生にはこちらからの情報提供の一方通行にならないように傾聴に努めていきたい。授業において、目指す保育と一貫するように、さらに「学生の主体性」を尊重する形を試行錯誤していきたいと考える。

6. エビデンス一覧

- (1) 各科目シラバス
- (2) 授業時配布プリント
- (3) 試験問題
- (4) 成績集計結果
- (5) 授業アンケート結果

以上